

難しいガスには直接燃焼式で。 ベタベタガスにも対策可能！



客先：東海地方E社様
業種：アスファルト製造
設置時期：2013.1
設置機種：直接燃焼式脱臭装置 DF-18型
処理風量：18Nm³/min
処理ガス：IPA、酢酸エチル、ベンゼン他
総炭化水素濃度：167.1ppm
浄化後濃度 / 浄化率：0.5ppm / 99.7%

人や車の移動に欠かせない道路に使われるアスファルト。そんなアスファルトを製造する工場でも、弊社の脱臭装置は活躍しています。アスファルトから発生するガスは強い臭気その他、タール分も含まれるため粘性が強く処理が難しい事で知られています。E社様からそんなガスを処理できる装置検討のご依頼を受けた弊社はミストセパレータと組み合わせた直接燃焼式脱臭装置をご提案。同装置は数ある脱臭方式の中でも特に幅広いガスに高い浄化率を発揮できます。

